

社会福祉法人 喜びの園 2022（令和4）年度
 生活介護事業所 みゆき広場 事業報告
 自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日
 <2022年度 みゆき広場 利用状況>

◇出欠状況(延べ人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	通所日(日)	22	21	24	22	21	22	23	22	21	20	21	24	263
	利用延べ人数(人)	530	593	684	615	591	627	632	612	579	535	603	702	7303
	平均利用率(人)	24.1	28.3	28.5	28.0	28.2	28.5	27.5	27.9	27.6	26.8	28.8	29.3	27.8

*2022年度:通所日 263日, 利用延べ人数 7,303人, 平均利用率 27.8人

◇年代別

(人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
女性	0	3	1	4	1	0	1	10
男性	1	5	1	12	3	0	0	22
合計	1	8	2	16	4	0	1	32

◇障害支援区分

(人)

区分	2	3	4	5	6	合計
女性	0	0	0	3	7	10
男性	0	0	1	4	17	22
合計	0	0	1	7	24	32

2023年3月31日現在(実利用者)

【週間カリキュラム別状況】

《手作り》

- ・今年度の目標 それぞれが新しい技術の取得を目指し、製品の質の向上を目指す。順調に販売を続けている布巾は、引き続き丁寧な仕上げを目指し、使い心地の良い製品の作製を目指していく。ランチョンマットやコースター、フクロウの置物、猫のクッション等は材料の確保ができ次第、製作を行っていく。新たに販売を開始したマスクも需要の増加により販売を続けていく。新たな製品の開発にも力を入れていく。福山市博物館内のショップや彩プラザで販売する製品の種類、納品量を増やしていきたい。また、新たな販売ルートも探して行く。感染症対策により納品・集金に行く利用者は1～2名とし、マスクが着用できる利用者に限って行う。今後も感染状況を見ながら納品を行っていく。
- ・実施場所 新館、食堂
- ・実施日と時間 月・火曜日／10：00～11：30・月・火・水曜日／13：00～14：30
- ・目的 制作する喜びを味わい、製品を販売して社会参加をする。
- ・内容 布製品の小物入れや髪飾りづくり、ビーズでブレスレットなどのアクセサリー製品等の製作、事業所内使用及び販売用の布巾の製作、動物を形取ったランチョンマットやコースターの製作、フクロウの置き物、猫のクッション、マスクの製作を行う。
- ・全体の評価 今年度の前期は依然として新型コロナウイルス感染拡大防止によりイベント中止が続いた。しかし、9月頃から徐々にイベントが再開し販売の機会が増えていった。9月の『しんくみ週間イベント』、10月の『御幸祭』、11月の『第41回町民文化祭』、12月の『障がい者週間販売』など今までに参加した事が無いイベントにも参加し、2,000円～3,500円程売り上げることが出来た。福山市博物館内のショップと福山すこやかセンター内にある販売ショップ『彩プラザ』で引き続き販売を続け、合計で30,000円近く売り上げている。昨年と同様に季節に合わせた商品に入れ替えるなどを積極的に行うことで、沢山の方に手に取ってもらえた。博物館のショップのスタッフや彩プラザのスタッフの方からも好評の声を頂くことが出来た。
製品については、小物類（巾着やポーチなど）の製作・販売を中心に行っていた。また、季節に合った柄などの製品を積極的に作成していった。また、ビーズの製品などは今まで新型コロナウイルスの影響でイベントが中止になり販売する機会が無くなった為制作を止めていたが、御幸祭など子供たちが集まるイベントが再開した為制作も行った。
2023年1月に原材料の高騰により商品数十円程値上げした。
利用者の作業技術は利用者それぞれの技術に合った治具を作成・活用することで、順調に向上することが出来ている。また、個別スペースの活用や作業配置の工夫・適度な休憩を入れることで集中力を継続させ作業量や丁寧さも上がっている。
今年度は下請け作業（教科書のリング止め）を行っている。比較的取り組みやすい作業で、利用者さんも積極的に行うことが出来ていた。

《和紙作り》

- ・今年度の目標 それぞれが作業分担を行い1つの製品が完成するまでに多くの利用者が作業に関われるようにしていく。製品加工数を少しずつのぼし季節に応じた商品などを生産していく。製品の丁寧な作成に心がけ完成度の高いものが販売できるようにしていく。コロナ禍で地域イベント等が中止となっている中、ご家族への販売や外部団体への委託販売のニーズに応え

- られる様に製品開発を行っていく。
- ・実施場所 作業場1
 - ・実施日と時間 月・金曜日／10：00～11：30
 - ・目的 牛乳パックを使った和紙製品作りを通して機能訓練、社会参加を図る。
 - ・内容 牛乳パックを利用して和紙つくりと製品作りを行っていく。牛乳パックから製品を作る過程の中で1つでも多くの工程に参加してもらい製品が完成したことの達成感をもってもらう。紙の細かい繊維等にふれることで本人の持つ感覚を刺激する。
 - ・全体の評価 和紙作りではリサイクルカリキュラムで回収した牛乳パックなどを利用して、各利用者にあった工程に分かれて、牛乳パック切り、牛乳パックのラベル剥がし、紙ちぎりの行程、和紙すき、製品の作成など様々な行程で作業を行っている。新型コロナウイルス感染症の対策では室内の換気、手洗い、アルコールでの消毒や、人同士が密にならない様にパーテーションを置き、今まで以上に広く場所をとり行っている。感染対策の点から、作業時間の縮小により製品の生産量も少しではあるが減ってきている。販売の方は今まで販売していた各種イベント等が中止になり販売機会も少なくなっている。現在は広島県立歴史博物館と福山すこやかセンターや声をかけていただいた販売機会などにて製品を置かせてもらって販売場所を確保している。

《音楽》

- ・今年度の目標 全員が一体となって活動を行える環境を作り、音楽を通して表現力を身につける。音を聴き、「他の人と音を合わせる」ことを意識する。自分なりの表現を見出し、楽しみ方を見つける。火曜日の音楽では、ベースとなる音楽療法を続けながら、新たな曲や「今月の歌」など取り入れ、飽きないような時間を作る。金曜日の音楽では、行事での発表の場を想定し、曲選び、曲の構成、衣装選び、練習などに主体的に取り組めるようになる。自分の役割を果たし、メンバーである自覚を持つ。感染症予防に配慮した環境を作り、その中で音楽を楽しむ。
- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 火・金曜日／13：00～14：00
- ・目的 音楽と触れることで心身に刺激を与え、心身の活性化、情緒の回復や安定、リフレッシュを図る。楽器に触れる、発声をする、ダンスをする等いろいろな表現で音楽を楽しみ、身体機能の維持・改善につなげる。合奏・合唱・ダンス等、一つの曲をみんなと一緒にやることで一体感・達成感を共有する。
- ・内容 曲に合わせて手や体を動かしリズムを体感する。リズムに合わせて、様々な楽器を鳴らす。音楽鑑賞・カラオケ等音楽を使ったレクリエーションも行っていく。みんなに披露するステージの内容について考え、練習をする。
- ・全体の評価 火曜日午後の音楽は、利用者は音楽療法の流れを覚えており、楽器を鳴らす曲や手遊びをする曲とよくわかっており、毎回落ち着いて活動ができている。座る場所もだいたい決まっており、イスを準備するといつも座っている位置に座る利用者もいる。感染対策のため、隣の人とは距離をあけるようにし、使った楽器はアルコールで拭いて片付けている。「今月の歌」を決めることも続けている。みんなが知っていて楽しそうに聴いている曲を選ぶようにしている。飽きがこないように今後も工夫する必要はある。
金曜日午後の音楽は、YOASOBIの曲を3曲選び、ダンスや合奏の様子を撮影し、動画を作成した。利用者の紹介や作業の様子の動画も作成し、希望

する家族に配付した。「ハンドベル、鈴、カスタネット、ツリーチャイム」を使い、それぞれ担当を決めて合奏をした。指揮を見て楽器を鳴らすことが難しいこともあったが、練習を繰り返し、どうやったら指揮を見ることができるかを工夫しながら取り組んだ。ダンスでは利用者の得意な動きを取り入れ、パートに分けて、撮影した。1年かけて、少しずつ練習と撮影をしていき、年末の行事で作成した動画を披露することができた。

《ガーデニング》

- ・今年度の目標 各利用者がそれぞれになんらかの役割を持ち作業に関わっていく事により、自然と親しむ経験を増やしていく。そして、水やりや草取りが必要な時期は、ジョロ等を使用しての水やりや道具を使用しての草取りなどをするなど個々人が役割をはたしていく。四季に応じた野菜や人気のある野菜の栽培への工賃アップにつなげていく。栽培した物を使用しての加工品の作成に挑戦していく。外部から野菜栽培の専門家を招くことで、勉強する機会を作り知識を得ていく。また、収穫した野菜の調理方法や使い方の幅をひろげていく。その他、季節を感じられる場所（農園、公園）などには、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じたうえで出かけていくなどし、気分転換をはかっていく。外出時はマスク着用、車内では密を防いでの乗車の工夫、窓を開けての換気、アルコール消毒液の持参、人込みがあるところには行かないなど徹底を図る。
- ・実施場所 作業場1、食堂、新館、みゆき広場の畑
- ・実施日と時間 月・水曜日／13：00～14：30・木曜日／10：00～11：30
- ・目的 土を触る事によって、楽しみを増やし気持ちを穏やかにしていく。また、野菜の栽培、収穫を通し、食の大切さを学んでいく。
- ・内容 自分たちで栽培している野菜が成長していくのを観察し学ぶ機会を設けていき、時期を考えながら収穫し必要に応じて草取りなども行っていく。また、季節の美しい花、香りのよい草花を育てることで精神の安定をはかる。自らの手で直接土を触る。（落葉拾いをし、栄養のある土作りを行う）道具（一輪車、耕運機、スコップ、ジョロ）などを用いて作業をすることで自然と親しむ。新しい野菜の栽培を行っていく。また、収穫した野菜で、漬物を作ったり、調理をする事で、食の大切さと喜びを経験する。また、造った物を販売する事で、収入の向上にもつなげていく。生育不良になった野菜の原因等を考えながら次の栽培につなげていく。
- ・全体の評価 コロナ感染症の観点から、ガーデニングで収穫したものを使用しての加工物は清潔に留意し、換気も行いながらマスクを着用でき清潔保持ができる人のおこなってもらい、販売は職員のみに行った。その他、野菜の種まき、収穫、土地を耕運機などで耕す、草をとるなどすべての作業工程に参加をしてもらうことができた。ガーデニングで使用する道具等の買い物は、コロナ感染症の観点からほぼでかけることはなかった。季節をかんじられる場所への外出も、以前にくらべてでかける回数は減少した。行き先は、4月にバラ公園と桜見物に千田町、6月に沼隈のハーブガーデン、9月に井原に案山子見物に出かけた。（出かける際は、感染対策を十分講じて外出をおこなった。）
2022/10/29 平大御幸祭では、植物の『竜の髭』を販売した。（500円）
2022/11/25 町民文化祭（みゆき広場会場）では、野菜を多数販売した。（4,590円）
2022/12/3 ローズコムで開催された障がい者週間の催し物ではほうれん草を販売した。（750円）
コロナ感染症の影響で参加できる催し物が減少したものの、職員のみでの参加ではあるものの感染対策をしっかりと行い行事に参加し工賃アップと、みゆき広場というところを一

人でも多くの人に知ってもらえるように、パンフレットを置くなど工夫をおこなった。

《創作》

- ・今年度の目標 新型コロナ感染症対策の徹底を図りながらの全体作品作り、個人作品作り。新たな素材を模索して、作品作りに取り入れる。既存技法の応用、新たな技法を使った作品作り。広島市ピースアートプログラムアート・ルネッサンス 2023 への出展。ダイハツ広島販売株式会社様への絵画レンタル出展。
- ・実施場所 作業場 1、作業場 2、新館
- ・実施日と時間 水曜日／10：00～11：30・火・金曜日／13：00～14：30
- ・目的 出展作品、応募作品、行事で使用する飾りや看板作り。見聞を広めるための美術鑑賞等。
- ・内容 出展作品、応募作品作り、行事で使用する飾り作り、ふれあい広場でみんなにみてもらう作品作りなど、個人作品制作と共に全体作品の取り組みを強化していく。
- ・全体の評価 火曜日…個人作品の作成。・行事での飾りや看板の作成。・全体作品の作成。水曜日…みゆきカルタの作成。（作成に手掛けて3年目となり、それぞれの役割分担を行い全員で取り組んでいる。）・行事での飾りや看板の作成。金曜日…個人作品の作成。・行事での飾りや看板の作成。・全体作品の作成。・コロナ感染予防として席の空間、距離、パーテーションの使用を行ってきた。
 - ・火曜、金曜の活動では全体作品で作成した「題材：打ち上げ花火」（マスキングテープを使った貼り絵作品）を障害者週間に展示している。
 - ・行事の飾り作りは各曜日で取り組んでいる。
 - ・ダイハツアートレンタル事業では年に4回の展示をしている。（ダイハツ2店舗に年間8作品を展示している。）
 - ・2022年度のアートルネッサンス展示は延期され2023年春に予定している。
 - ・11月では「町民文化祭」の会場として旧館に作品展示をしている。
 - ・絵画、貼り絵、立体作品など興味を持ち、楽しみながら取り組んでいる。
 - ・作る楽しさと作成された達成感を味わいながら活動に取り組んでいる。

《リサイクル》

- ・今年度の目標 コロナ禍の中、感染に注意して作業を行う。個別スペースを利用して蜜を避ける。手洗い、マスク、手袋、ビニールシート、アルコール消毒、換気などをして感染を防ぐ。回収や納品はマスク手洗い手袋が出来る人が作業を行い感染を防ぐ。新聞チラシ、雑紙、雑誌などの仕分け作業、段ボールのラベル剥がしや、たたむ作業、古紙でメモ作り作業、シュレッダー作業また、施設内の清掃や草抜き作業などの環境美化等、利用者様全員が何らかの役割を持って作業に参加する様、作業内容を工夫する。回収先、納品先での挨拶等を大切にする。自然環境をきれいにする意識を持つ。限りある資源を大切にする意識を持つ。利用者様1人1人に合わせて作業を考えて行き、楽しく作業が出来る環境を職員が整備し支援する。
- ・実施場所 みゆき広場旧館前大屋根周辺・新館
- ・実施日と時間 月・水・金曜日／10:00～11:30
- ・目的 リサイクル物品を通じて地域社会につながっている意識づけを促す。リサイクル活動で限りある資源を大事にして自然環境にやさしい仕事をしていると意識づけを図る。

- ・内 容 缶をアルミ缶とスチール缶に分別し、アルミ缶をつぶして業者に納品する。定期的に段ボール・古紙を業者に納品する。定期的に缶・古紙・段ボール等の回収に行く。地域の清掃活動をする。
- ・全体の評価 月曜日サイクルは牛乳パックを手やハサミで細かくちぎる作業をしている。また、館内清掃や草抜きや洗濯たたみやタンス整理などしている。行事前は看板や飾り作りをしている。
水曜日と金曜日サイクルはシュレッダー作業やシュレッダー用の紙を折り機械の大きさにハサミで切るさぎょうや段ボールのラベル剥がしや畳む作業や雑紙や雑誌の仕分け作業や新聞と広告の仕分け作業もしている。新型コロナウイルス感染対策ができる利用者様と一緒に回収に行っている。牛乳パックやシュレッダーした紙や段ボールや新聞チラシや雑誌やアルミ缶やスチール缶をリサイクル業者（かこ川商店）に納品している。回収先や納品先では挨拶を交わして作業をしている。
適材適所、全員で作業をしている。新型コロナウイルス感染防止対策として石鹸での手洗い、アルコール消毒、個別スペースで蜜を避け、換気を徹底してきた。
御協力団体名（順不同・敬称略）
・住友林業・三上治療院・かやのみ保育園・日栄産資(株) 駅家工場・(株)純

《散歩》

- ・今年度の目標 みゆき広場周辺を散歩する事で、周辺地域の住民と挨拶を交わす等の交流も図る。また、車が接近してきた場合等、道の端に寄ったり、道幅の広い所で止まって待つ等の交通マナーを学ぶ機会にする。体を動かし、歩くことで身体の機能維持と、精神安定に努め健康に過ごす。歩行の練習をすると共に心肺機能の強化・肥満軽減を図る。様々な景色・物に触れる等して気持ちの開放を図る。
- ・実施場所 あんず公園、井原リフレッシュ公園、港町公園 みゆき広場近辺道路・みゆき広場屋内
- ・実施日と時間 火・木曜日／10:00～11:30 月・水・金曜日／13:00～14:30
- ・目的 歩行機能と体力の維持、増進、肥満軽減等をはかる。心身のリフレッシュと気分転換を図る。楽しみつつも、体力増進、機能維持、肥満軽減などを促す。山登りでは坂道を歩くことにより、脚の筋肉をつけるなど歩行の練習をする。散歩を通して生活習慣病を予防し、強い身体をつくり、病気に対する抵抗力をつけ、健康に過ごす。
- ・内 容 新型コロナウイルス感染症対策の観点から、他者との接触が想定される公園等の利用や、密閉・密集・密接になり易い車での移動は極力避け、屋内でできる運動や、事業所近辺でのウォーキング等に活動内容を見直す。みゆき広場周辺の道路や、近辺の車の往来の少ない農道等を利用者の状況に配慮しながらウォーキングを行う。雨天時や、暑さ寒さの厳しい気候時には、屋内で、サイクリングマシンや乗馬等のマシントレーニングや、腹筋やスクワット・踏み台昇降等の筋トレを行う。雨天の場合には、みゆき広場内でレクリエーションを行ったり、室内にて体を動かし体力増進やリフレッシュを図る。
- ・全体の評価 新型コロナウイルス感染症対策で、公園等の外出先での運動から、事業所近辺の車の通りの少ない道を使用してのウォーキングや、屋内での筋トレやレクリエーション等に切り替えてから二年が経過し、各利用者がどんな運動がどのくらいできるのか、限られた職員配置で、利用者によってどういったことを促せるのか…等が、様々な試みの中からわかってきて、各曜日のメンバ

一でやる事が定着しつつある。そのことで、各利用者もこの時間はこれをやる…といった安心感も出てきたようで安定してきている。感染症対策や緊急対応等で職員配置が安定していない現状はあるが、今現在の形が安定してきていて、またここから様々な試みをして行きたいと考える。不定期ではあるが、事ある毎に話し合いの時間を設け、各利用者の歩行スピードやペース配分・距離等から利用者同士のマッチングや、マンツーマン対応や見守りを必要とする利用者とのマッチング、出発する時間差等、安全に歩行する為の問題点や対策を考える機会にしている。

《リラクゼーション》

- ・今年度の目標 PT と連携を取りながら、利用者に応じたメニューを行う。訓練を重ねることで本人が抱える身体負担の軽減を目指すと共に身体機能の維持・向上を図っていく。また、個人のペースに合わせて細かく評価をしていくことで本人の訓練に対する意欲の向上を図る。
- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 火・木・金曜日／10：00～11：30
- ・目的 気持ちをリラックスできる時間を提供する。障がいゆえの不自然な姿勢や過剰な動きによる筋肉の緊張を緩め、生活しやすい身体づくりをする。
- ・内容 ストレッチ、マッサージ、足浴等、気持ちを開放できるゆったりとした時間を設ける。機能維持・筋力維持・身体的負担軽減を目的とした機能訓練を行う。筋力維持・肥満軽減を目的とした筋トレを行う。生活場面で行う動作に必要な体の動きをその人それぞれにメニューを組み、身体を動かしていく。また、自転車やストレッチポールといった道具も使い、楽しんで体を動かせることを取り入れながら楽しんで体を動かしていく。
- ・全体の評価 本年度も、服部PTと共に利用者それぞれの身体状況の変化などをその都度確認し、訓練の内容の見直しを重ねてきた。利用者担当職員からの体調面の報告等も踏まえ各利用者にとって必要とされる訓練を検討してきた。また御家族からの『家で出来る様になってもらいたい動き』に対しても服部PTとの相談の基、訓練のメニューに取り入れていくようにしており、御家族が期待される運動機能の維持・向上を目指すことが出来ている。訓練メニューも多様に設定できた。新型コロナ感染予防対策の影響を受け、昼食の準備に時間を費やすこととなり、午前の活動時間の短縮が続いている。その中で出来る限りすべての参加利用者の訓練メニューが終えられるように効率よく訓練を組むように取り組んできた。今期、新型コロナ感染拡大により、服部PTによる指導はほとんどがリモートとなった。直接指導のようにスムーズな指導は得られないがPTが客観視できるという利点もあった。引き続き、みゆき広場の都合（行事）により金曜日以外でリモート指導に入ってもらえることができた。リモート指導をより円滑に充実させる為、事前に各利用者の運動機能についての情報を集めたり工夫を重ねた。

《箱庭》

- ・今年度の目標 やりたいことを実行する。好きなものに触れ、リラックスする。穏やかな時間を過ごして、リフレッシュにつなげる。利用者がもつ表現力を引き出す。
- ・実施場所 相談室
- ・実施日と時間 月・水曜日／10：00～11：30
- ・目的 箱庭を楽しむ。箱庭療法を通じ、利用者の気持ちの安定を図る。感覚を刺激する。
- ・内容 みゆき広場の医務室を使用し、箱庭療法を行う。

- ・全体の評価 希望者が、順番に一人ずつ箱庭を職員と1対1で行っている。ほとんどの利用者が声をかけにいくと、スムーズに部屋に入室している。好きな物を選んで砂箱に置いたり、絵本を見たり、童謡の流れる絵本で遊んだり、砂の感触を確かめたりと、それぞれに楽しみ方がある。箱庭での過ごした方は利用者それぞれのペースに任せており、リラックスできるように努めてきた。たくさんのおもちゃや本の中から欲しいものを自分で取りに行ったり、職員に指差しなどで欲しい事を伝えることができている。「次、箱庭いつ?」と確認したり、箱庭をしている部屋の前でドアが開くのを待っていてくれる利用者の様子から、箱庭の時間を楽しみにしていることがうかがえた。

《生活》

- ・今年度の目標 意欲的に活動に取り組み、新しい技術の習得を目指し、協力して仕事を成し遂げる経験を積む。新型コロナウイルス感染症対策としてマスク、手袋、手洗い、アルコール消毒の徹底、外出時の車内の蜜、人込みの多い場所への立ち入りに十分注意しながら取り組んで行く。
- ・実施場所 みゆき広場敷地内、職員駐車場
- ・実施日と時間 水曜日/10:00~11:30
- ・目的 生活全般に関する活動を行い生活技術の習得を目指す。施設敷地内外で行える活動を通して、仕事に対する喜びを感じ、地域に関わるような活動を目指す。
- ・内容 施設車両の洗車・室内清掃・施設内窓拭き・床掃除・下駄箱掃除・草抜き(施設敷地内・職員駐車場)・洗濯物たたみ・エアコンフィルター掃除・加湿空気清浄機フィルター掃除・衣替え・施設周辺のゴミ拾い・納品・集金その他必要に応じて活動を行う(行事準備の手伝い、地域の方の家にチラシ配り)
- ・全体の評価 今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から外出しての買い物はせず、主に施設内や周辺での清掃活動を行ってきた。館内掃除ではエアコンのフィルター掃除、窓拭き、下駄箱掃除、床掃除を行い、季節の変わり目では衣替えやタンス内の整理、前日の洗濯物のたたみを行い、草取りでは敷地内や職員駐車場を行っている。草取りは当日の天候や気温に注意しながら利用者の体力を考慮しながら個々に応じた時間を設定して無理しない様に取り組んでもらった。送迎車の室内清掃、他のカリキュラムからの依頼で行事の準備の手伝い、合同作業など状況によって対応して来た。手作り品の納品や集金で車に乗って外出する事もあるが利用者さんは車から降りる事はなく車中でゆっくりしてもらっている。活動について全員と進め方や今後の利用者さんの目標を話し合い協力し合える様にして来た。集中力に課題がある利用者に対してはマンツーマンで対応し参加できるよう支援を行ってきた。活動後も新型コロナウイルス感染症対策として手洗い、アルコール消毒の徹底を行っている。職員の協力により少しずつでも利用者の出来る事が増える様取り組んでいる。

《ドライブクラブ》

- ・今年度の目標 車中では外の景色を楽しみながら落ち着いた雰囲気的空間作りをする。到着地でも楽しめるような場所設定をする。トイレや水分補給がスムーズに行えるように道順や到着地を計画する。安全運転に徹し、現地で降車した際でも十分な安全配慮をする。新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用と出先(トイレ)等で車外に出た際、乗車時にアルコール消毒を徹底する。車内の蜜を避ける為、座席スペースを配慮し1台の乗車人数を減らし、車の台数を増やす。感染状況に応じて外出時間の短縮や中止など活動

- ・実施場所 内容を変更する事がある。
天神狭・竹ヶ端運動公園・三和道の駅・井原リフレッシュ公園・福山港・府中道の駅・港町公園・あんず公園・井原の案山子見学・山野農村公園など
- ・実施日と時間 土曜日／10:00～11:30
- ・目的 外気浴を楽しむ。車窓からその季節それぞれの景色や風を感じ気持ちのリフレッシュを図る。
- ・内容 車で近隣地域をドライブし、行った先で散策する。
- ・全体の評価 2022年ドライブクラブはコロナ渦の中、感染予防を一番に配慮し活動を行った。トイレ以外には降車しない事を念頭に置き、トイレ使用に於いても人との接触を避け対応してきた。トイレを済ませての乗車時はアルコール消毒を行ったうえでの乗車に徹底してきた。車内での蜜を避ける為、乗車人数を減らし、車の台数を増やしてきた。(10人乗りの場合、6人までの制限をしてきた。)車内の換気、マスクの着用、現地到着時の水分補給は車内で行ってきた。このような徹底した感染防止策に努めながらもドライブを楽しんでもらっている。季節それぞれの景色を楽しみ、車中では穏やかな空間で過ごされている。今後も感染予防に努め、状況に応じて活動内容を考えていく。

《お料理クラブ》

- ・今年度の目標 興味を持って、楽しく活動に取り組む。レシピや写真などで作業工程を確認し、作業に取り組む。みんなで作業を分担し、協力して1つの料理を完成させる。器具や火の取り扱いに注意が払えるようになり、料理のスキルを向上させる。新型コロナ感染症対策で、マスクやフェイスガードを活用し、爪や手洗いなどを徹底する事で、衛生面への意識を持つ。
- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 土曜日／10:00～11:30
- ・目的 料理の楽しさを知る。調理し出来上がった時の達成感、満足感を得る。感覚を刺激する。形の変化を味わう。旬の食材を使用し季節を感じる。
- ・内容 土曜日の昼食の小鉢一品やデザート作りをする。次回作る料理を考える。みゆき広場のガーデニングで収穫した野菜や果物を出来るだけ取り入れ、季節を感じられるメニューを作る。
- ・全体の評価 感染対策を徹底してきた。新型コロナの新規感染者が多い時期には「料理を作らない」という判断をした。料理することを楽しみにしているため、新規感染者が減っているときには、感染対策の中でできる料理を考え、調理した。消毒や手洗いなどは徹底し、出来上がった料理にはすぐにラップをするようにした。料理ができた回数は少なかったが、料理をしているときはみんな良い表情で積極的に取り組んでいた。デザートやみゆき広場で獲れた野菜を使ったおかずを作った。マスクを下ろして話をする、手袋で顔や頭を触るなど衛生面の意識はまだ低い。爪は始める前に職員がチェックするようにしてきた。ゼリーを2種類作り、みんなが食べたい方を選べるようにすることにチャレンジし、楽しんでもらうことができた。

《スポーツクラブ》

- ・今年度の目標 新型コロナ感染症対策の徹底。運動、スポーツ、ゲームの楽しさを味わう。スポーツ大会、球技大会の出場者は、楽しんで参加する中で、ルールを理解を深め、入賞を目標に取り組む。
- ・実施場所 作業場1・井原リフレッシュ公園・近所の公園・河佐峡など
- ・実施日と時間 土曜日／10:00～11:30
- ・目的 健康維持増進とルールの理解を目的に、スポーツやゲームを通して楽しみ

- ・内 容 ながら無理なく体を動かす。
年齢の幅や利用者それぞれの運動能力の違いを考慮し、運動の内容を考えていく。また、ゲーム等のルールをできるだけ簡単に、わかりやすく工夫していく。活動の見通しがつきやすいように、同じ運動やゲーム、練習などを繰り返し行っていく。
- ・全体の評価 各々の運動能力の違いを考慮して、無理なく体を動かし、楽しくゲームを行う事に取り組んできた。今年度は毎回利用者からリクエストを募り、ゲームやスポーツに取り組んでいった。リクエストのあったスポーツやゲームのルールを分かりやすくして、最初に職員がお手本を見せるなど全員が取り組みやすい環境を作っていた。利用者の体力にも考慮してリラクゼーションを行い、心身ともにリラックス出来るよう取り組んだ。

【年間企画、参加行事】

- 2022. 4. 8 お花見行事（みゆき広場）
- 5. 13 春のお楽しみ会（みゆき広場）
東部地区親善球技大会 中止
- 6. 10 第3回プチ球技大会（みゆき広場）
- 7. 8 デイキャンプ（みゆき広場）
東部地区親善スポーツ大会 中止
- 10. 28 秋のお楽しみ会（みゆき広場）
- 11. 25 第41回町民文化祭（みゆき広場）
- 12. 23 年末感謝祭（みゆき広場）
- 2023. 1. 13 新年会（みゆき広場）
- 2. 2 節分（みゆき広場）

【健康管理】

日常生活に必要なバイタルチェック（体温2回・血圧・脈拍数）を毎日行っている。看護師は水曜と土曜以外の平日 AM9:00～PM12:00 に勤務しており、利用者や職員のバイタルチェックについて必要と思われる適切な措置を講じている。また、協力医療機関の連絡調整や、健康保持のために必要な支援を行っている。なお、2023年4月から看護師は毎日勤務（平日：AM9:00～PM4:00 土曜：AM9:00～PM3:00）に勤務体制を変えている。

○2022年度健康診断

- ・日 時：2022年11月8日（火）13:00から
- ・場 所：みゆき場 本館 作業場1
- ・実施人数：利用者 男子：20名 女性：9名
- ・実施機関：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容：
 - ・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重
 - 腹囲・BMI・理学的検査（診察）・血圧測定・尿検査（尿中糖及び蛋白及びウロビリ
 - の検査）・視力・聴力・胸部・X線撮影・心電図検査・血液検査（肝機能・脂質・糖尿病検査）・尿検査
 - ※インフルエンザ予防接種（希望者実費） 男子：17名 女子：6名

○2022年度職員健康診断

- ・日 時：2022年11月4日（金）から11月25日（金）
- ・場 所：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・実施人数：職員 男性：10名 女性：12名
- ・実施機関：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容：
 - ・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重・腹囲・BMI・理学的検査（診察）・血圧測定・尿検査（尿中糖及び蛋白及び

びウロピリの検査)・視力・聴力・胸部 X 線撮影・心電図検査・血液検査(肝機能・脂質・糖尿病検査)・尿検査

※インフルエンザ予防接種(希望者事業所負担) 男子：6名 女子：9名

【お口の健康相談】

- ・実施機関 医療法人社団義恵会 土屋歯科医院
- ・実施期間 2023年1月23日(月) / 1月30日(月)
- ・実施人数 15名(1/23) / 7名(1/30)

昨年度に続きお口の健康相談を行っていただいている。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施された。健康相談自体は、利用者様も回数を重ねていることで不安なく参加することができている。

【各種会議の状況】

1) 職員会議

職員会議は原則第1土曜日の15:20~17:20の2時間で行っている。毎月の協議及び、周知すべきことを、職員会議において決めている。また、施設内研修、身体抑制等の適正化に関する話し合い、虐待防止委員会もこの時間でおこなっている。ケア会議については、新型コロナウイルス感染症対策としてデータ化した資料の事前確認により会議時間が大幅に短縮された。

2) ケア会議

毎日の連絡会議終了後、月に2回木曜日にケア会議を行っている。会議においては、利用者のモニタリングを行い、個別支援の見直しを行っている。会議において個別支援を変更する必要がある場合は、利用者並びに家族の同意を書面で得た後、支援内容を変更している。支援計画の終了時には最終評価を行い、面談で再アセスメントを行い、ご本人のニーズにあった個別支援計画を作成している。新型コロナウイルス感染症対策として、資料のデータ化による事前確認と検討事項の周知により、会議時間が大幅に短縮した。

3) 連絡会議

毎日午後5時開催。翌日の予定などの申し送り事項を中心に周知する会議として位置づけを行っている。利用者の状態の把握等については、検討事項のみ時間をとって話し合いを行っているが、その他の事項については、確認事項として各自確認できるよう職員グループメールにより「様子報告」として確認できる状態にしている他、Google スプレッドシートを用いて、記録時間と会議時間の短縮を図りつつ職員全員で情報共有できるようにしている。

4) 給食会議

基本的には業務委託業者による加工済み食材を過熱して提供している。汁、ご飯については自己調理を行っている。利用者のリクエストを取り入れるため、毎月第3水曜日の誕生日会メニューについては調理員と施設長と誕生月の利用者で決めており、みゆき広場で自己調理を行っている。また、毎月第1土曜日をリクエストメニューの日として位置づけ、全員で主菜等を決めている。利用者が選びやすいように、主菜の写真を作り投票で選んでもらうなど工夫をしている。ここ数年は支援学校卒業後の利用者が増え、ボリュームのあるおかずの要望に応える為、2019年2月よりゆめサポートバク様の宅配弁当おかずのみを取り入れた。また、リクエストメニューではない土曜日にはカレー曜日として月に1回程度カレーを食していただいている。お弁当ではカレーがないため利用者皆様に大変喜んでいただいている。

5) 勉強会

毎月土曜通所日の14:00から15:00まで非常勤職員と正職員とで、支援について勉強してもらっている。利用者支援内容を共有することで利用者自身が困らないようにしている。非常勤職員からの提案も聴くことができ、職員のスキルアップや、より良い支援に繋がっている。

【防災訓練】

- 第1回火災避難訓練(合同訓練／みゆき広場) 令和4年10月17日(月) 10:00より開催
- 第2回火災避難訓練(合同訓練／みゆき広場) 令和5年3月24日(金) 12:55より開催
*火災を想定した訓練を年2回行い、防災意識を身に付ける機会を得る。
- 第1回訓練(津波避難訓練) 令和4年10月15日(土) 10:00より開催
- 第2回訓練(津波避難訓練) 令和5年3月18日(土) 10:00より開催
*津波発生を想定した訓練を年2回行っている。この訓練から様々な問題点を洗い出し、実際の洪水発生時の利用者の無事に備えるマニュアルを見直した。

【職員研修、出張、視察等の状況】

1) 職員研修・各種大会等への参加等の状況

2022 5/16	新型コロナ対応自宅研修「発達障害とは」	ズーム
5/26	令和4年度広島県、知的障害者福祉福祉協会第1回総会	Web会議
6/17	社会福祉法人会計「初級編」オンラインセミナー	ズーム
6/17	広島県知的障害者福祉協会福山・府中圏域会議	ズーム会議
6/28	令和4年度第1回生産活動・就労支援部施設長会議	Web会議
6/29	令和4年度広島県相談支援従事者初任者研修講義1日目	Web研修
6/30	令和4年度広島県相談支援従事者初任者研修講義2日目	Web研修
7/8	権利擁護と障害者虐待防止法	Eラーニング
7/12	令和4年度広島県、相談支援従事者初任者研修1日目	ズーム
7/13	令和4年度広島県、相談支援従事者初任者研修2日目	ズーム
7/13	指定障がい福祉サービス事業者等集団指導研修、第1部・第2部	ズーム
8/3	第1回インクルージョン委員会広島県打ち合わせ	ズーム
8/8	新型コロナ対応自宅研修「意思決定支援」	ズーム
8/9	〃「意思決定支援」	ズーム
8/9	社会福祉法人会計セミナー基本編	ズーム
8/16	福山市地域貢献活動協議会第6回定時総会	すこやかセンター
8/22	年金委員会研修、厚生年金保険事務説明会	福山年金事務所
8/30	強度行動障害支援者養成研修(1日目)	ズーム
8/31	強度行動障害支援者養成研修(2日目)	ズーム
9/3	新型コロナ対応自宅研修「発達障害について」	Web研修
9/5	〃「特性と支援」	Web研修
9/5	〃「発達障害とは」	Web研修
9/6	〃「特性と支援」	Web研修
9/6	〃「行動面の背景や感情について」	Web研修
9/7	〃「生活支援・就労支援・家庭支援」	Web研修
9/7	広島商銀しんくみ週間イベント販売参加	広島商銀店内
9/8	新型コロナ対応自宅研修「意思決定支援1日目」	Web研修
9/9	〃「意思決定支援2日目」	Web研修
9/12	〃「意思決定支援3日目」	Web研修
9/13	〃「意思決定支援4日目」	Web研修
9/14	福山市地域福祉貢献活動協議会、2022年度ブロック会議【北部①】	ズーム
9/14	令和4年度広島県相談支援従事者初任者研修3日目	ズーム
9/15	新型コロナ対応自宅研修「行動面の背景や感情について・自立を支えるアセスメントと支援」	Web研修
9/16	〃「生活支援就労支援について・保護者・家族支援について知りたい」	Web研修
9/17	〃「リスクマネジメントに関する基本的な知識」	Web研修
9/22	【JICA 中国会】社会福祉法人研修会	ズーム

9/27	令和4年度安全運転管理者等講習	広島県民文化センターふくやま
10/12	令和4年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修1日目	ズーム
10/13	〃 2日目	ズーム
10/20	強度行動障害支援者養成研修実践研修1日目	ズーム
10/21	〃 2日目	ズーム
10/27	強度行動障害支援者養成研修基礎研修1日目	ズーム
10/27	〃 1日目	ズーム
10/28	〃 2日目	ズーム
10/28	〃 2日目	ズーム
10/29	福山平成大学御幸祭参加	福山平成大学
10/29	〃	福山平成大学
11/1	第41回町民文化祭・学区防災訓練責任者会議	御幸公民館
11/6	全体研修会「自然災害被害者に対する臨床心理的支援」	広島県民文化センター
11/17	令和4年度広島県、相談支援従事者初任者研修 演習4日目	ズーム
11/18	〃 演習5日目	ズーム
11/22	令和4年度広島県支援スタッフ部会研修会	ズーム
11/23	トーキングマット基礎研修	広島市総合福祉センター
11/28	令和4年度指定障害福祉サービス事業者集団指導研修	ズーム
11/29	社会福祉法人会計セミナー（予算・実践編）	RCC文化センター
11/29	広島県サービス管理責任者及び児童発達支援責任者基礎研修	Web研修
11/29	広島県サービス管理責任者及び児童発達支援責任者基礎研修	Web研修
11/29	令和4年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修（共通講義）	ズーム
11/29	令和4年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修（共通講義）	ズーム
12/3	障がい者週間における製品販売	ローズコム
12/3	障がい者週間における製品販売	ローズコム
12/7	令和4年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修（演習1日目）	ズーム
12/8	令和4年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理者研修（演習2日目）	ズーム
12/14	広島県サービス管理責任者及び児童発達支援責任者基礎研修1日目	Web研修
12/15	広島県サービス管理責任者及び児童発達支援責任者基礎研修2日目	Web研修
12/21	令和4年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修1日目	Web研修
12/22	令和4年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修2日目	Web研修
12/26	広島県知的障害者福祉協会福山・府中圏域会議	ズーム
12/26	職場研修、担当者研修	Web研修
2023 1/5	職場研修、担当者研修	Web研修
1/9	令和4年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修	Web研修
1/10	職場研修、担当者研修	Web研修
1/10	令和4年度広島県障害者防止・権利擁護研修	Web研修
1/11	新型コロナ対応自宅研修「発達障害について」	Web研修

1/17	令和4年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修	Web 研修
1/17	「避難行動要支援者避難支援制度」説明会	Web 会議
1/23	新型コロナ対応自宅研修「発達障害について」1日目	Web 研修
1/23	令和4年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修	Web 研修
1/24	新型コロナ対応自宅研修「発達障害について」2日目	Web 研修
1/24	BCP（事業継続計画）セミナー	㈱日産サティオ福山 （福山佐波店）
1/25	新型コロナ対応自宅研修「発達障害について」3日目	Web 研修
1/31	広島県知的障害者福祉協会、日中活動支援部会	GoogleMeet
2/3	社会福祉法人会計セミナー、決算編	ズーム
2/9	令和4年度第2回生産活動・就労支援部会施設長会議	Web 研修
2/22	令和4年度社会福祉法人会計、実務研修(決算編)	Web 研修
3/9	障害福祉サービス等事業者研修会	ズーム
3/9	障害福祉サービス等事業者研修会	ズーム
3/16	福山府中圏域支援スタッフ会	水呑交流館
3/16	広島県社会福祉法人経営者協議会第3回総会・研修会	TKP ガーデンシティ広島 駅前大橋ホール
3/20	令和4年人権・倫理部会研修会	ズーム
3/29	一般社団トータルライフサポートふくやま総会、	福山すこやかセン ター3階
3/29	令和4年度福山市障害者・地施設連絡協議会、第2回総会	福山すこやかセン ター3階
3/30	2022年度第1回「日中サービス支援型共同生活援助」評価委員会	福山すこやかセン ター2階

【ボランティアの状況】

第41回町民文化祭みゆき広場会場のボランティア（竹田町内会2名・町内11名）

【施設実習等の状況】

1) 実習生等来訪

福山北特別支援学校 実習 1名（5/11～5/12・10/18～10/19・2/9～2/10）
一般 実習 1名（5/19・6/24）

2) 旧館利用 団体 2（12回）体協 9回・盆踊り保存会 3回

3) 理学療法 毎週金曜日9：30～11：30（リモート36回・来所9回）

理学療法士が利用者の体の状態を確認し、機能訓練プログラムを職員と相談し決定している。年度当初よりコロナ禍の為にリモートで指導を受けていたが、2月からは感染対策をして来所し指導を受けている。

【家族との懇談会】

コロナ禍だが必要の為8/4に家族との懇談会を1回行っている。その他のご家族への必要情報は文章や電話でお知らせしている。